

■あとかき

“住みたくなるまち 住み続けたいまち 魅力あるまち 柏原”をめざして

かつては右肩上がりの経済成長を拠り所に“まちのめざすべき姿、理想の姿”を追求することができました。また、少し背伸びをして施策を実施することもできました。

しかし、経済状況の予測が非常に難しくなっている今日においては、“身の丈にあった”行政運営が求められています。

その一方で少子高齢化の進展、雇用条件の悪化等社会情勢の変化に合わせ、行政に対する市民ニーズも複雑多様化しています。また、地方分権の議論が活発に行われ、権限移譲の検討も進められています。

このように、今後行政が果たすべき責務がこれまで以上に大きくなっていくと考えられる中で、柏原市は、身の丈にあった行政運営を行いながら、新たな行政需要に適切に対応し、市民福祉の向上を図っていくという相反する局面にあり、この局面をどのように打開していくのかが、これからの課題となっています。

そこで、この度策定した『柏原市行財政健全化戦略』に基づき、職員が一丸となって取り組みを進めていくことで、この困難な課題を克服し、その先にある“住みたくなるまち 住み続けたいまち 魅力あるまち 柏原”の実現に向け前進していきたいと考えています。